ひととひと まちとまちをつなぐ芸備線
～芸備線沿線地域意見交換会の報告～

地域交通課芸備線対策係　☎0824-73-1171

９月 14 日、24 日、28 日の３日間、市内３会場で「芸備線沿線地域 意見交換会」を開催し、29 人が参加しました。この意見交換会は、芸備線沿線の地域資源を生かした地域の魅力向上やまちづくり、芸備線の利用促進、沿線地域への経済波及効果などの可能性を探る、本市独自調査の資源とするため、アイデアを募集する取り組みとして開催したものです。参加者の皆さんから寄せられたアイデアを要約して紹介します。

皆さんからいただいたアイデア

1 「行ってみたい！」をつくる

- 地域の観光・食・体験を組み合わせ、「訪れる理由」をつくる
- 帝釈峡や雄橋、星空、登山など、地域ならではの資源を生かす
- 「ゆっくり走る」「秘境感」など、芸備線そのものの魅力を発信する
- 歴史的なまちなみや路地、温泉などを歩いて楽しめるルートをつくる





2 駅から、もう一歩その先へ

- 電動自転車や電動バイク、シャトルバスなど、駅から観光地への二次交通を整える
- 鉄道とバスの共通チケットやパーク＆ライドなど、移動を組み合わせる
- 案内表示や地図を充実させ、駅から地域を巡りやすくする



3 「乗って、巡って、楽しむ」へ

- 駅や地域で弁当・土産などの物販や飲食を充実させ、地域での消費につなげる
- 鉄道利用と店舗の割引・特典を組み合わせる
- 宿泊やスタンプラリー、イベント列車などで滞在・回遊を促す



4 芸備線ならではの魅力を発信

- ラッピング列車やイベント列車、沿線ガイドを組み合わせたツアーを企画する
- 鉄道ファン向けのグッズや限定列車などをつくる
- SNSや動画などで、知られていない魅力を発信する
- 子どもや家族が楽しめる列車体験をつくる



今回皆さんからいただいたアイデアは、今後の芸備線再構築協議会での議論や、本市の観光・まちづくりの取り組みを検討する際の参考として活用していきます。